

評議会だより

第四五九回評議会

平成五年九月十四日(火)

(本部新任者の紹介)

庶務部国際交流課長 太田 恵雄

(前文部省初等中等教育局

高等学校課外国語教育研修係長)

(教員選考報告)

経済学部

助教 藤原 賢哉(応用経済学)

理学部

助教 小口多美夫(金属物性)

〃 五十嵐丈二

教授 出口 博則(分類・生態学)

医学部

教授 夜陣 紘治(耳鼻咽喉科学)

医学部附属病院

講師 丸山 高司(手術部)

工学部

助教 太田 信昭(応用理化学)

以上の報告があり、これを了承した。

(報告)

一、平成六年度新規概算要求事項につ

いて報告があった。

二、広島大学体育学部創設準備委員会  
要項の廃止等について報告があった。  
(議事)

一、広島大学と連合王国リーズ・メト  
ロポリタン大学との間の学術・教育  
交流に関する協定の締結について  
原案のとおり承認した。

二、署名評議員の交代について  
次の三名を次期署名評議員とする  
ことを承認した。

秋葉 欣哉 評議員  
武田 誠郎 次期評議員  
岡本 莫 評議員

三、十月定例評議会開催日の変更につ  
いて  
十月十二日(火)を十月五日(火)  
に変更することとした。  
(庶務部庶務課)

署名評議員とは

評議会の議事録は評議員の中から  
選ばれた三名の評議員が内容を確定  
し、サインすることで正式に確定す  
る。このサインする評議員が署名評  
議員で任期は二年。欠員の生じた場  
合、補充されたものは前任者の残任  
期間を担当する。

◆平成六年度の大蔵省への概算要求の主要  
事項(広大関係)

八月末に文部省から大蔵省へ送られた来  
年度概算要求の広大関係の主要事項は次の  
とおりである。

研究所関係 原爆放射能医学研究所の改  
組

十部門を四大部門(十二研究分野)  
にし、附属原爆被災学術資料センター  
を附属国際放射線情報センターに改組  
するものである。

大学院関係 国際協力研究科の新設  
独立研究科の国際協力研究科(開発  
科学専攻・博士課程)を新設するもの  
である。

附属研究施設 理学部附属両生類研究施  
設に種形成機構研究部門の新設

進化学研究部門を廃止転換し、  
種形成機構研究部門を新設するもので  
ある。

◆体育学部構想正式に断念、関係要項廃止  
される

体育学部構想の断念が九月十四日の評議  
会で報告され、了承された。昭和五十一年  
以来努力してきたが、将来の見通しが全く  
不可能として断念に踏み切ったもの。これ  
に伴い「広島大学体育学部創設準備委員会  
要項」(五五・十一・四 学長決裁)、「広  
島大学体育学部創設準備室設置要項」(五  
五・十一・四 学長決裁)が廃止され、関  
連して「広島大学総合保健科学センター設

立準備委員会要項」(五六・一・十三 学  
長決裁)のなかの体育学部創設準備室長を  
委員から除外する改正が行われた。  
今後は大学院の「スポーツ科学研究科」  
構想として、大学院幹事会で引き続き検討さ  
れることになった。

◆英国リーズ市のメトロポリタン大学と大  
学間交流協定を調印へ

経済学部、法学部が中心にすすめていた  
英国のメトロポリタン大学との大学間国際  
交流協定がまとまり、近く調印される見通  
し。同大学はロンドンの北三〇〇キロのリー  
ズ市にあり、人口は七〇万人。経営、文化  
教育、環境、保健、情報の五学部をもつ国  
立大学で、学生数は約一五、五〇〇人、教  
官数は一、一三三名と規模は広大と同程度。

今後の主な予定

- 十月二十六日 部局長連絡会議
- 十月二十七日 広島大学献体者慰霊祭
- 〃 〔霞体育館〕
- オーストラリア学長協会
- 訪日大学調査団視察
- 十月二十九日〜三十一日 大学祭
- 十一月四日 同和講演会〔医学部〕
- 十一月九日 部局長連絡会議 評議会
- 十一月十二日 同和講演会〔総合科学部〕
- 十一月十二日〜十四日
- 第四十四回中国五大学学生競技大会
- 冬季大会〔島根大学〕
- 十一月三十日 部局長連絡会議